

中防処理施設における火災情報

■近年の火災発生件数

近年は、リチウムイオン電池等の二次電池付き製品が多く使用されており、これらの製品が施設に搬入されると破碎処理等の過程により発火し、火災の恐れがあります。以下の表は、令和4年度から令和6年前期(4月～9月)までの粗大ゴミ破碎処理施設及び不燃ゴミ処理センターにおける火災件数となります。

<火災発生件数>

	令和4年度	令和5年度	令和6年4～9月
粗大ゴミ破碎処理施設	95件 (1件)	84件 (1件)	54件 (0件)
不燃ゴミ処理センター	18件 (1件)	21件 (0件)	14件 (0件)
合計	113件 (2件)	105件 (1件)	68件 (0件)

※()は東京消防庁に出動を要請した件数

■火災事例

多数の火災が発生している中で、東京消防庁に出動を要請するような大規模な火災も複数発生しています。その一例が、令和2年11月21日に不燃ゴミ処理センター、令和5年11月18日に粗大ゴミ破碎処理施設での火災です。火災の原因は、東京消防庁によれば、リチウムイオン電池等の二次電池でした。

【不燃ゴミ処理センターの火災(令和2年11月21日)】



【粗大ゴミ破碎処理施設の火災(令和5年11月18日)】



■搬入されている二次電池及び二次電池付き製品

不燃ごみについては、不燃ごみ処理センターでごみ性状調査や搬入物検査を実施しております。その結果、搬入された不燃ごみの中に二次電池及び二次電池付き製品が混入していました。



搬入された不燃ごみ(一部)



不燃ごみの中の二次電池及び二次電池付き製品(一部)

粗大ごみについては、「二次電池付き製品を搬入する場合は、他の粗大ごみと分けて搬入していただくように」23区にお願いしています。



粗大ごみの搬入の様子



粗大ごみで搬入された二次電池付き製品(一部)

■区民のみなさまへのおねがい

ご不要になったリチウムイオン電池等の二次電池付き製品は、電池を使い切るようにお願いします。また、分別方法は「小型充電式電池の回収ボックス」や「リサイクル協力店」にお持ちいただくなど、区によって異なるため、お住まいの区の分別方法に従い、適正な分別にご協力をお願いします。

■関連リンク

- ・[誤ったごみの分別により火災が発生！\(東京消防庁\)](#)
- ・[リチウムイオン電池搭載製品の出火危険\(東京消防庁\)](#)

[問合せ先]

東京二十三区清掃一部事務組合
中防処理施設管理事務所技術係

03-3599-5323